

NIC 地球市民教室 世界を考えるプログラム例

多様な価値観

【ねらい】

多様性が前提に成り立つスリランカの事例から、「違い」を認め合い、共生するための社会づくりの重要性に気づくとともに、私たちの暮らす日本について、さらには多様性を活かした地域社会づくりに向けて、一人ひとりができることを考える。



多文化共生

【ねらい】

多様な背景を持つ外国人が日本に住んでいること、人々が国境を越えて移動する理由を知る。また、多民族・多文化国家で知られるカナダの文化を知ることで、多様な文化を受け入れ、尊重する大切さを理解し、日本の多文化共生について考える。



SDGs

【ねらい】

身近なモノ・コトと地球や地域の課題とのつながりから、すべての人々がよりよい生活を送れる持続可能な世界とは何かを考える。世界各国の水の使い方や、水に対する考え方を知り、多様な文化や環境下で生活する人々のことを知る。水という 1 つの事象が、環境や社会福祉、経済成長など様々な側面につながっていることに気づき、地域や地球のために自分ができることを考える。



世界のすべての子どもに教育を～世界寺子屋運動～

【ねらい】

世界寺子屋運動*の活動を通して、途上国の子どもたちの状況を知る。さらに、文字が読めない体験や、学べないことで起こる状況やその要因について考え、地球の課題に気づく。またその解決のために、自らができる国際協力への行動につなげる。

* 世界寺子屋運動とは？

国際識字年(1990年)をきっかけに(公社)日本ユネスコ協会連盟によって始められた運動です。様々な要因で教育の機会を失ったり、読み書き・計算ができない人々に「学びの場=寺子屋」を提供しています。

